

「エイズを知り、 エイズから学ぶ発表会」

1 題材名 「エイズを知り、エイズから学ぶ発表会」

2 題材について

(1) 設定の理由



エイズとは？

児童生徒等を取り巻く性に関する環境の大きな変化から、性に関する規範意識の低下や逸脱行為、10代の人工妊娠中絶や性感染症の増加等が深刻な問題になっている。性感染症の一つであるエイズの感染者も、若い世代に広がってきている。

また、10代における性交経験の増加が指摘されており、これに伴ってエイズをはじめとする性感染症の予防等に関する指導を求める声が強い。したがって、子供の発達段階に応じて性感染症にかかわる正しい知識を身に付けて、予防できるようにさせることが大切である。

このような状況から、エイズの予防が性行動と密接な関係を有していることを理解させる必要がある。さらには、エイズに関する指導により、エイズに対する不安や偏見を払しょくし、適切に対応できるようにしていかなければならない。また、性教育の集大成として、望ましい異性観や男女の人間関係の在り方を考えさせ、適切な意志決定と行動選択ができるよう、本題材を設定した。

(2) エイズという病気の4つの特徴

現在のところ発病してしまうと完全に治す治療薬がない。

特有な症状がなく、検査以外では分からないので、自分が感染していると知らずに、他人を感染させてしまう。

HIVは感染力が弱く、感染経路も限られているので、予防方法は簡単であるが、人間の性行動に対する意志決定や行動選択が大きくかわる。

HIVに感染してもはっきりとした症状が出ない。潜伏期間は、平均して10年前後といわれている。

3 目標

(1) エイズについての正しい知識を深める。

日本や世界各国の現状と対策、課題等を知る。

感染経路と予防方法を知り、病気に対する恐怖を取り除く。

感染者と一緒に生活しても、自分の強い意志と行動選択で予防できることを理解する。

(2) 人間尊重の精神を培い、感染者の人権を守ることが大切であることを知る。

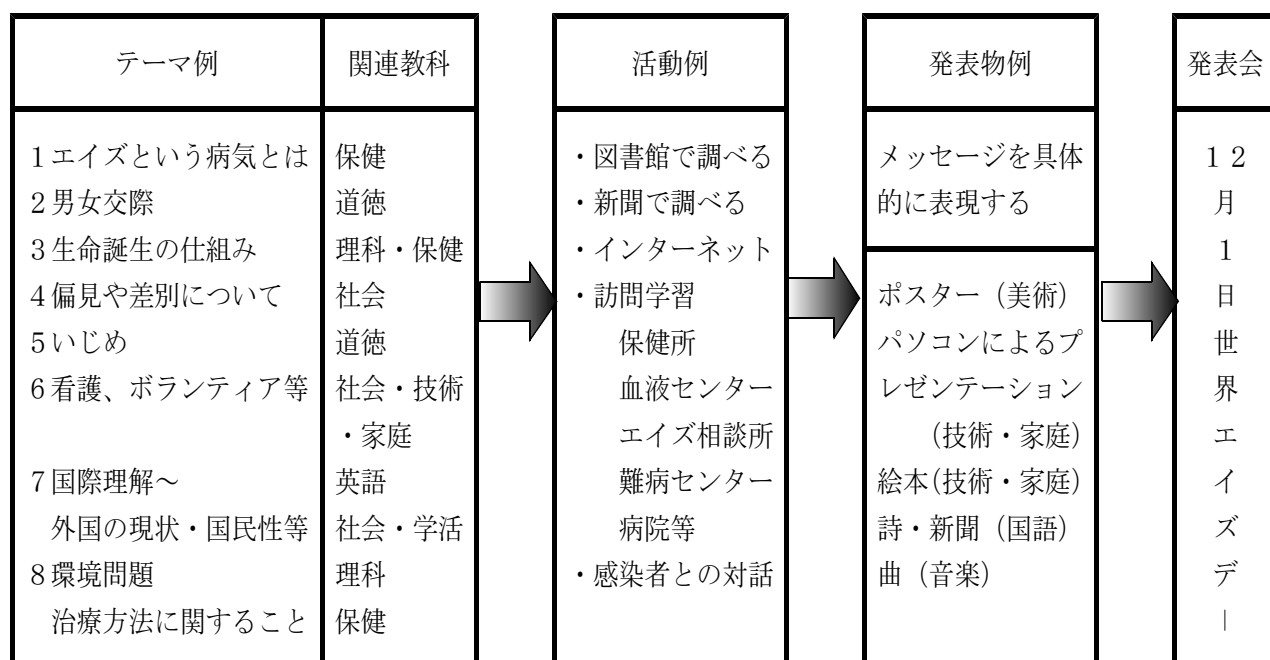
エイズ感染者に対する誤解や偏見を払しょくする。

感染者の心理や悩みを知り、特別な人間でないことに気付き、一緒に生活できることを理解する。

4 指導計画（本時にいたるまでの流れ）

時	教科・領域等	題 材 名	目 標
既習	保 健	「性感染症の予防 / エイズ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ エイズの正しい知識を身に付ける。 ・ エイズの予防方法を理解する。 ・ なぜ、エイズ患者に対して偏見や差別が起こるのかを考える。
1	総合的な学習	「エイズという病気」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の感想を交流し合い、学習意欲を高める。 ・ 「免疫」機能を理解し、エイズの症状を知る。 ・ 各自の学習テーマを決定する。
2	総合的な学習	「エイズを知る 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ エイズに関する資料から、自分のテーマについて調べる。
3	総合的な学習	「エイズを知る 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の課題を解決できる資料を見つけて調べる。
4	総合的な学習	「エイズを知る 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ エイズ感染者に関する現状を知り、自分のテーマと関連付けて調べてまとめる。
5	総合的な学習	「エイズから学んだこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の訴えたいことを考えて、発表物を制作する。(活動場所を発表方法ごとに分けると良い)
8		「エイズから学ぶ発表会 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ発表方法ごとに発表会を行う。
9	総合的な学習	「エイズから学ぶ発表会 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学級内発表」を通して、発表する力を付け、他人の発表からも知識を深め、学ぶ力を付ける。
10	<本 時>	「エイズから学ぶ発表会 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開かれた学年集会で、地域への発信を行う。

留意点～発表方法（絵本、ポスター等）は、教師側が設定して生徒の選択制にすると、指導しやすい。



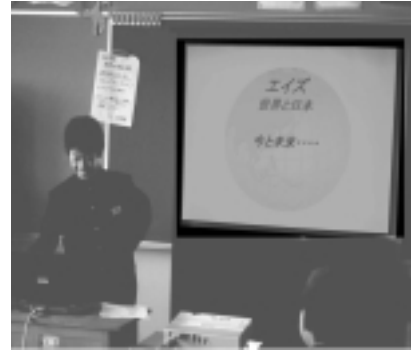
5 指導展開例

学級内発表会の一例

※留意点

発表の仕方（大きな声で、わかりやすく、自分の言葉で表現すること等）を事前に指導しておくこと。

- 1 発表内容に関する三択クイズをする（答えが発表の中にある）。
- 2 発表の仕方、内容に関する質問や感想を書く用紙を配布し、記入させる。
- 3 パソコンによるプレゼンテーションと壁新聞で発表し、交流することによってエイズに関する知識を深める。
- 4 発表者が質問に対して答えられない場合、他の生徒が自分の資料を基にして、回答する。
- 5 多様な発表（ポスター、紙芝居等）からエイズへの理解を深める。
- 6 今回の学級内発表会での新たな疑問や、更に調べてみたいことを整理する。



「パソコンとポスターによる学級内発表」

学年発表会

※家庭・地域社会・小学校との連携

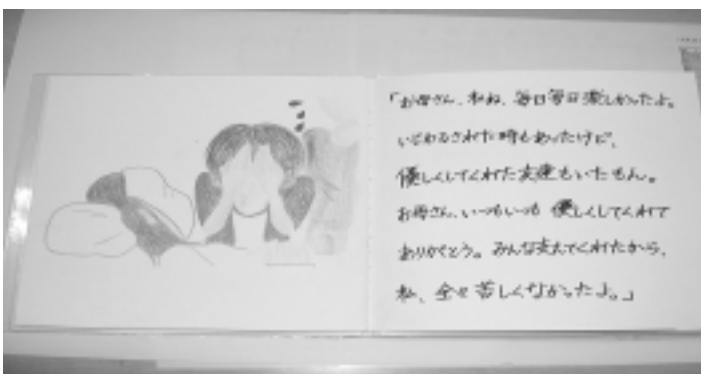


「学年発表会での小学生に向けてのパソコン発表」

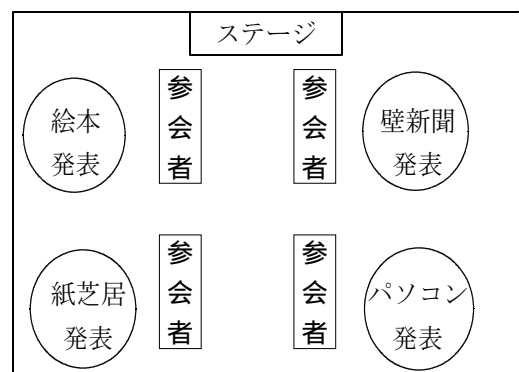
地域に発信する学年発表会を体育館において開催する。対象は、保護者、関係小学校6年生、青少年健全育成推進会の委員、学校評議員である。

発表後の全体集会において、学校長や保護者、各小学校の代表児童からそれぞれ感想や学んだことを披露してもらう。

小学生には学校に戻ってから感想を全員に書いてもらい、学校便りで紹介し、地域にも配布する。

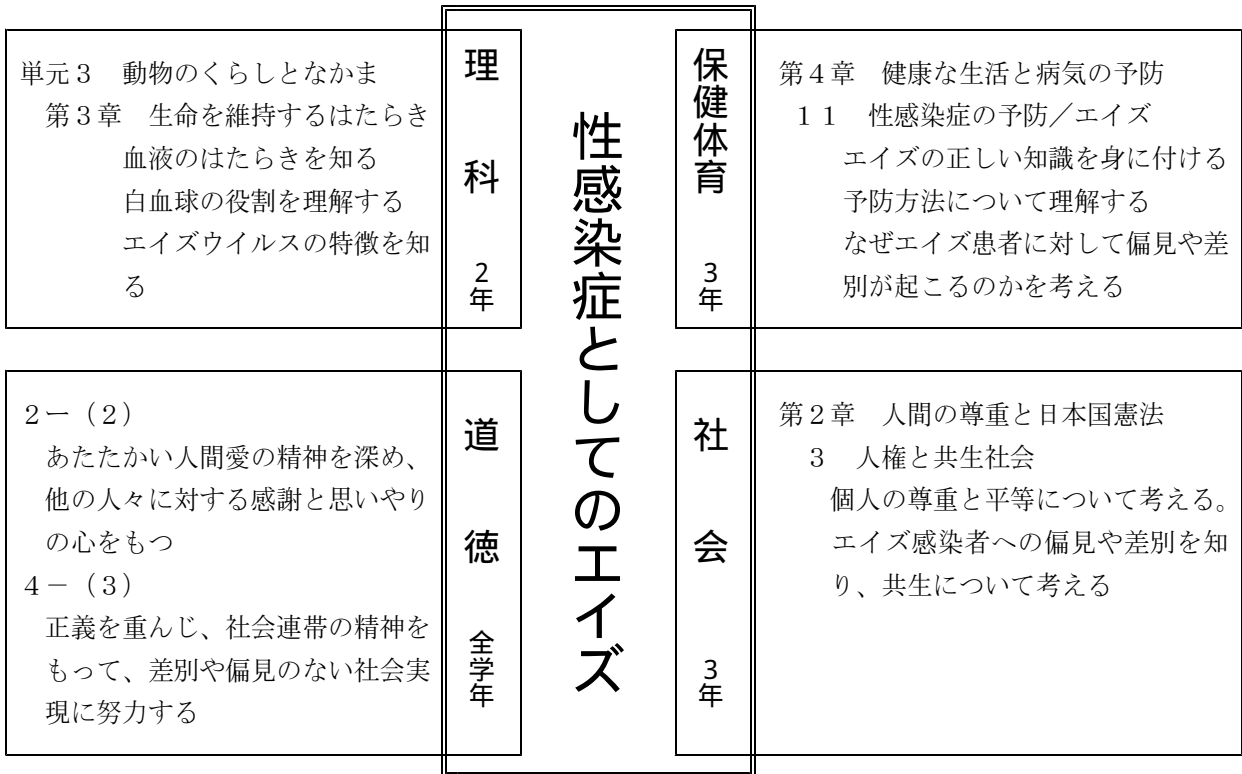


「エイズから学んだことを絵本にして主張した制作物」



「体育館での発表配置図」

6 各教科・各分野との関連性



総合的な学習（本時の目標）

- ・エイズに関する課題を自分で見付け、自ら学び、考えて、よりよく問題を解決する資質や能力を培う。
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心などの豊かな人間性を身に付ける。
- ・人間の生命や男女の在り方、生き方について自ら考え、意志決定と望ましい行動ができる力を培う。

